

(試験研究課題年次別解説集様式2号：継続課題用)

# 日本周辺国際魚類資源に関する試験研究

(予算区分 水研委託 研究期間 平成18年～)  
担当：漁業開発部資源海洋研究室

## 【研究の背景とねらい】

クロマグロ等の高度回遊性魚類に関しては、近年、その資源状態を懸念する声が世界的に高まり、国際漁業機関などによる資源評価が行われ、その資源状態を正しく把握し、必要に応じて種々の管理措置が取られています。このような中、我が国周辺水域においては、多くの高度回遊性魚類が来遊し、多種多様な漁獲・利用がなされていることから、当該資源の安定的な利用の確保のため、我が国周辺水域及び隣接する公海を回遊するこれら資源の科学的データを完備するための調査が必要となっています。

## 【これまでに得られた成果】

平成4年以降、静岡県主要港を対象にマグロ・カジキ類、サメ類、カツオの漁獲統計資料を収集・整理しました。これらデータは、国際科学委員会を通じてその資源状況の把握に大いに活用されています。



図 クロマグロ幼魚の測定

## 【期待される成果】

資源解析に使用する漁業種別漁獲量、努力量、漁獲物体長及び年齢組成等の情報収集を継続的に実施することにより、太平洋の高度回遊性魚類の適正管理に貢献できます。また、毎年蓄積された全国のデータは、国際漁業交渉の場で我が国の立場を主張する有力な裏付けとなり、関係漁業の経営安定に寄与します。

## 【今後の計画】

昨年度までの漁獲状況調査と生物測定調査に加え、クロマグロの若齢魚であるメジについて、静岡県近海における来遊資源水準の調査を実施します。

### ア 漁獲状況調査

漁業種類	対象魚種	調査場所	調査方法
竿釣、まき網 曳縄、延縄等	マグロ類、サメ類 カジキ類、カツオ	御前崎港等県内18市場	水揚伝票の集計等

### イ 生物測定調査

対象魚種	漁業種類	調査時期	測定場所	測定尾数	回数
クロマグロ	竿釣、曳縄	6月～翌年1月	御前崎港等	100尾/回	4回/月
カツオ	竿釣、曳縄	4月～翌年3月		200尾/回	4回/月

### ウ 来遊資源水準調査

漁業種類	対象魚種	調査場所	調査方法
曳縄	クロマグロ	地頭方港等県内漁協	標本船調査

(作成 平成20年4月)